

洋書輸入協会会報

VOL. 7

NO. 9

(通巻77号) 昭和48年9月

理事会報告

8月10日(金)

- (一) さいきん英国を訪問して帰国したU P S 斎藤純生氏およびブックス・フォア・アジア市川温氏と、さいきんの英国出版界の状況、とくにわが国との関係について意見の交換をおこなった。
- (二) Pergamon Press のA S P 追加料金について、4月20日付 J B I A No. 187 を改めて会員に連絡することとする。
- (三) Kraus Reprint からの回答の検討。
一応譲歩してきたとはいえ、はっきりしない点もあり、再研究・再検討の要もあるが、会員へは回答を連絡する。9月に代表者が訪日する予定なので、理事会として会見を求め、意見の交換をおこなうこととする。
- (四) 通関委員会報告。
統計報告表中の重量の記載を廃止するよう陳情書を提出することとなった旨報告があった。
- (五) 文化厚生委員会報告。
フランクフルト書籍展視察団への申込状況について報告あり(本日現在27名)。
- (六) その他

経営シリーズ No. 7

輸入品の流通経路及び価格形成について

相 良 広 明

通産省公報昭和48年7月23日(月)付、No. 7103の第2部は、「物価：最近の急騰と政府の対策」として通産省物価対策室から発表されています。その記事の中に、「乗用車、書籍など10銘柄の輸入品価格」——通産省調査報告——(資料)の項があり、参考になると思われますので、「流通経路」及び「価格形成」の部分を抜粋して整理してみました。御参考になれば幸いです。

1 流通経路について。

此の報告書には輸入業者以前の段階のことは何も触れてなく、日本国内のことだけを調査してある。

日本国内に入ってから、種々な表現を用いてあるが、要約すると次のような5段階に分れ、商品の種類及び取扱業者によって段階の踏み方が異なる。

第(1)段階 輸入業者(日本支社、輸入総代理店)

(2) ク 一次問屋(代理店、特約店)

(3) ク 二次問屋(特約店)

(4) ク 小売業者(特約販売店、一般小売店、百貨店)

(5) ク 消費者

報告書に掲載されている10銘柄については、書籍

と一部の化粧品を除き、すべて3段階乃至5段階の流通経路となっている。

書籍の大部分と化粧品の一部分のみが、輸入業者から直接消費者へ販売する最も簡素な形である。

る。

2 価格形成について。

記載形式が商品によって若干異なるのでまとめにくい、強いてまとめると次のようになる。

	腕時計計	万年筆	米 国	ゴ ー ル フ	ラ イ タ ー	フ イ ル ム	カ ラ	化 粧 品	書 籍
輸 入 原 価	28 %	30 %	30~35%	25 %	37 %	20~25%	70~80%		
関 税	2	5~6	2~3	2~5	6	2~3			
物 品 税	3~9		10~11	5~6	6	1~3			
原 価 計	33~39	35~36	42~49	27~36	49	23~31			
輸 入 業 者 卸 価		45	60	50~55	50	55~60			
最 終 卸 価	67	70	65~75		80	60~75			
小 売 価	100	100	100	100	100	100	100	100	100

このように整理してみると、つじつまが合わない所も出て来るが、大体において次のような価格形成になっている。

輸入原価	30%前後
関税・物品税差引輸入業者マージン	10~20%前後
中間マージン	15~25%前後
小売マージン	25~35%前後

(註) 関税及び物品税は、小売価格を100としてパーセントを配分した。

従って輸入業者兼小売業者の場合は、輸入業者マージンと小売マージンの合計30~50%をマージンとして必要とすることとなるが、それでもなお、10~30%の中間マージンプラスアルファを節約することが出来よう。

3 総代理店ものの価格形成について。

	ジョニ赤	ラ イ ス イ ス 時 計	モ ン プ ラ ン	西 独 万 年 筆	パ ー カ ー	米 万 年 筆	香 水
輸 入 原 価	46.1%	41 %	35~37%	6	8	19~22	15~16
ブ ラ ス 税							
総代理店マージン	23.1	13	12~20	37~47	30	17~18	100
問 屋 マージン							
小 売 マージン	30.8	33					
小 売 価 格	100	100	100	100	100	100	100

これらはいずれも並行輸入の対象となったものである。

4 所 見

商品によって、こわれる等のロスの発生、アフターサービスの有無、返品等を含む商習慣の違い

等あって一概にマージンの多寡を論ずる訳にはいかないが、書籍の場合は、いずれの商品に較べても最も流通経費が低い。同時に、いずれの商品においても、夫々の業界においてマージンの適正化と流通経路の簡素化を求めて努力すべきであろう。

欧文「日本関係文献目録」 その2

八 木 佐 吉

Pagès, Leon. – Bibliographie Japonaise, Paris, 1859.

パジェス編日本書目。

日本関係欧文文献の纏った書目として最初のもの。編者レオン・パジェスについては詳しい伝記は存在していないが、1814年パリに生れ、1886年に逝去した。一時期は清国（中国）のフランス公使館に勤務していた。その頃の著書「ザビエル書翰集」（Lettres de S. François Xavier…）もある。フランスは十七世紀から東洋学がさかんな国柄であった。東亜ことに日本に非常な興味をもち、関心が深かったパジェスは、その壮年期があたかも、わが国が開国前後の時期であった。心ある欧米人の関心は日本・中国に向けられていた。シーボルトはすでにオランダに在って、その大著「日本」その他のジャポニカ文献の出版を続けていて、ヨーロッパに日本事情が、従来からのお伽の国的イメージから脱した現実の姿で紹介され出してきた時代であった。

こういう周辺の好事情のもとにパジェスの日本研究は、先ず文献調査から始まったらしい。どれほどの日時がかかったか、何年を要したかは不明であるが、ともかく1859年に印刷出版にまでこぎつけたのがこの書目である。「15世紀以来1850年代までの日本関係著述」と副題されていて、マルコ・ポーロの「東方見聞録」の1496年刊本から始まっている。

今となっては収録書目はまことに少なく、現実にはほとんど利用することもないが、しかしこれが、出発点となってその後のもろもろの日本関係欧文書目の目録にまで発展していったそもそもの第一書である点だけでも重んぜられなければならない。

エーネスト・サトーは幕末期に來日してきて明治中期ごろまで、日英の外交に当たった人である。サトーはまたビブリオグラファーで特に日本におけるジェスイット派の出版物に関心を寄せた。そして遂に著名な画期的「Jesuit Mission Press in Japan」を1888年にロンドンで私刊した。この「日本きりしたん版書誌」はパジェスの書目が原点となっていると思う。現に「パジェス何番」といった書き添えもある。

パジェスはこの書目を出版したあとも、日本語の文典や長崎版キリシタン学林刊の日葡字典をもとに

して日仏字典を作ったりしている。それからパジェスの名を今に遺している。著に「Histoire de la religion chrétienne au Japon」2巻がある。これは、1869-1870年パリ刊。この本は和訳されて「日本切支丹宗門史」として岩波文庫に入っている。パジェスの著作中ではわが国で最も知られているものであろう。翻訳者は吉田小五郎先生である。

なお、パジェスの「日本書目」は昭和2年(1927)に国内でリプリント限定版が出た。原本も再版も極めて入手困難なもので、ほとんど古書市場に出てこない。しかし幸にも次に述べるウエンクステルン編「大日本書史」第1巻に翻刻版が附録されているので、利用の場合はこれで十分間にあう。

Wenckstern, Fr. von. – A Bibliography of the Japanese Empire.……Vol. I: 1859-1893. Vol. II: 1894-1906. Leiden & Tokyo, 1895 & 1907.

このウエンクステルンには「大日本書史」と表紙に漢字で題されている。第1巻（とその本には記されていない）は1895年オランダ・ライデンのBrill書店刊。上述のように、パジェスの「日本書目」をリプリントして附録しており、自らはパジェスに続く年次つまり1859年から1893年（安政6-明治26）までの欧文文献を収録している。勿論それ以前の増補もある。

Friedrich von Wenckstern (1859—ca1914) はドイツ人で日本研究家・語学教師。書史第1巻出版後1905年来日して、熊本の第五高等学校でドイツ語を教授した。そして在日中にその「大日本書史」の続編第2巻の編集を完了して、1907年（明治40）に丸善から出版した。この第2巻は1894年から1906年に至る十数年間にわたって出版された欧文の日本関係文献が網羅収載され、第一巻同様日本内地出版のものもあって重宝する。この外にパジェスの書目に洩れているものの追録が28頁分約500点もある。また「スエーデン語日本文献」も Palmgren 女史によって編まれ、別載されている。

またウエンクステルン書史の利用価値が高いのは単行本に関してだけでなく、雑誌論文名が満載されていることで、その上細分された分類で更に探索し

易くなっていることである。

この原本二冊揃いは稀にしか古本市場に出ない。
最近リプリント版が出ているもようである。

Nachod, Oskar. - Bibliographie von Japan. Bde.
I-IV: 1906-1926, 1927-1929 & 1930-1932.
(Hans Praesent & Wolf Haenisch) Bde.
V/VI: 1933-1935 & 1936-1937. Leipzig, 1928-
1940.

ナホッドの「日本書誌」。

これはウエンクステルンがハジェスの書目の跡継ぎであったように、ナホッドはウエンクのあととりとなり編集方針も同じである。すなわち、その最初の4巻には1906年から1932年(明治39 昭和7)に刊る文献書目が収録されている。この出版は1928-1935年である。この最後の巻編纂中にナホッドが逝くなったので Hans Praesent と Wolf Haenisch が編集を引き継いで、この兩人によってその後の2冊が編まれた。1940年に第6巻が出て一応「ナホッド日本書誌」は6冊で終わっている。最終的には1937年までの日本関係欧文文献約3万3千以上の収録である。

これで活版印刷が1450年代に創始されて以来1937年代までの欧文日本関係書目録が一貫して結ばれたわけである。パジェスが種を蒔いた原種がウエンクステルン-ナホッド-プレーゼント・ヘニッシュの努力で大きく実ったのである。後学には真にありがたいことである。それにしても当のパジェスはこれほど跡が続くものとは露知らぬことであつたと思うが、ヨーロッパの人達のネバリ強さには、わたくしは頭の下る思いがする。と同時にこれ以後がまた続刊されることを大いに望んでやまない。

なお Oskar Nachod はドイツ人で、すでに19世紀末から日本研究の論文を「Asien」その他の学会誌に発表している日本歴史の研究者である。その主著には

Geschichte von Japan. Gotha, 1906.

Die Beziehungen der Niederländischen Ostindischen Kompagnie zu Japan im siebzehnten Jahrhundert. Leipzig, 1897.

がある。後者は先年富永先生(天理図書館長)が和訳され「十七世紀日蘭交渉史」の表題で天理大学出版部から昭和31年に出版されている、東西交渉史の名著の一である。

なおナホッド「日本書誌」は最近リプリント版が、元版と同じ出版社ドイツのヒエルスマン社から刊行されていることを附言しておく。

Cordier, Henri. - Bibliotheca Japonica; Dictionnaire bibliographique des Ouvrages relatifs à l'Empire Japonais. Paris, Imprimerie Nationale. 1912.

コルディエの日本書誌。

この書目は他の日本関係書目と著しくちがった編集である。しかし、極めて特異の位置を占める重要な参考書である。

普通のような分類法が採られていない。従って目次はない。それは刊行年次と事件または関係事項の生じた年代を基準にして文献名が集載されている。例へば「二十六聖人の殉教」とか「ザビエル」というような見出しで、関係文献が最初の、つまりその当時のものから1900年代のタイトルまでが網羅されているのである。人名索引があるので、これの利用で活用できる。「シーボルト」を引くと、そこにはシーボルトの著作の全書名とシーボルト関係書が出てくるという訳である。自然科学書も旅行記もひとかたまりになっているので、分類してあるように、あちらこちらを検索しないで用が足りの便利さもある。ただし出版が1912年であるから、大略1910年頃までの欧文書の収録と思ってよい。ロシア語文献の少ないことが欠点である。しかしこれはこれで別にロシア語文献だけの参考書目が、その国で出ているのを利用すればことたりる。

アンリ・コルディエ(1849-1925)はフランスのオリエンタリスト・書誌学者。殊に中国史に詳しく、また近代ヨーロッパにおける中国研究の沿革とその書目の編集、ヨーロッパと東アジア地域、特にフランスと中国との交渉史についての大学者である。

パリ・ロンドンで学業を修め、1869年中国に渡り、のち(1871)上海 Royal Asiatic Society North China Branch の図書館長を勤める。帰国して1881年以来パリ東洋語学校に教鞭をとる。かたわら「Revue d'Extreme Orient」の編集に与り、また1890年創刊の「T'oung Pao」(通報)の主編集者の一人でもあった(Leiden Brill発行)

コルディエの根気と精進による基礎的業績は「ヤボニカ」のほか

Bibliotheca Sinica. 5 Vols. Paris, 1904-1924.

Bibliotheca Indo-Sinica. 4 Vols. Paris. 1912-1915.

Historie générale de la Chine.....

など頗る多数である。それらに就いてはすでに1924年に「コルディエ氏75才生誕記念著書目録」が出ている。

Bibliographie des oeuvres de Henri Cordier;
Publiée à l'occasion du 75^e anniversaire de sa naissance. Paris, 1924.

これは氏の逝去一年前の出版であつた。

出 会

明治大学教授 伊 東 弘

青年は生きることを渴望し、老年は生きたことを回想するものであるとすれば、壮年こそまさに真に生きているものと言わなければなるまいが、また他方に於て、青春は誤りを犯して生きる遣り方だが、それは、もはや誤りを犯すことさえ出来ないような生き方へと可成り速かに変わってしまうものであるとも言われる。

いまの私の実感としては、〈真に生きている〉というよりはむしろ、〈誤りを犯すことさえ出来ない〉という方がはるかに適切である。

ところで、この〈誤りを犯すことさえ出来ない〉という表現の中には、一切の人間事象を相対性の泥沼の中に埋没させ溶解し去る、近代の毒に中って癡癡するよりほかない意識が反映している。この相対性の不安から脱却するため、人は貧血気味の幾何学的線条を以て人生を斬断するに至る。

世の中を箱に入れたり傀儡師

此処に於て、人生の混沌として不透明な劇に代って、明晰にして透明なる内部意識が顕現する。自然と有機質の世界は悉くこの内部意識によって剝製にされ、凍結されて〈物性〉へと〈転移〉し、澆刺とした人生の個別は消滅し、人生の劇を彩るに不可欠な諸々の言語は実体を欠いた空虚なものと化するであろう。

しかし、この斬断された人生は、傀儡師の箱の中に蔵められて安らかな獣物の贅を彼に与えてくれはせぬ。人生は彼が斬断したまさにそのままでの畸形な姿で彼を襲うであろう。このようにして、存在性の円環を奪い取られた彼は、変身という名の逃亡を重ねて放浪の旅を続けるであろう。

これをしも人は人生との出会と言うであろうか。

既にして出会いは抱擁を予想するものであるが、もともと出会というものは、ホーフマンスタールの言うように、エロスの秘密に属するものであり、出会の際に於けるほど官能的なものが精神的であり、精神的なものが官能的である場合はない。出会いは事物のより高い秩序——それに従って多くの星辰が運行し、多くの思想が相互に受胎するあの秩序に属して

いるのである。

しかるに、エロスは、エステエト＝被誘惑者の恍惚と戦慄を知らぬ者に対してはその笑みを投げかけることをしないであろう。エステエトとは本質的に鈍わぬ人であり、ストイックなりゴリズムを嫌う。さまざまな形での愛と誘惑とに耽溺することにより、彼はさまざまな価値を知るであろう。彼にとっては、何ひとつ戒律をもたぬことが唯一の戒律である。戒律を設けることは、不時に見出される美に同化する機会を失わせるであろうし、〈見知らぬ人々の運命の幾何学的軌跡〉としての彼の存在を不可能にするであろうからだ。他者の諸々の生活が純粹にまた強烈に彼の内部に存在する。いわば、他者の血液の一滴を、或いは吐き出された息を、ガラス管に受けて強烈な炎の上にかざすかのように、彼の内部には容赦なく他者の運命が浸透する。

この場合、私達は、〈詩人は瞼をもたぬ眼の如く如何なる選択にも同意してはならぬ。〉という根源的な詩的要請をなすホーフマンスタールを、更にはまた、〈一切の選択が許されぬと同様、創造する人間は如何なる存在からも眼を外らしてはならぬ。〉と語り、或る日ローマで見た小さなアネモネのイメージを、〈昼の間に余り豊かに開いたので夜になっても閉じることができない〉この無限の受容力を、詩の開放性の象徴として称えるリルケを想起しなければなるまい。

身を包むものもなく、苦悩にむかって開かれ光に悩まされ、あらゆる音に心ゆらぐ存在

〈彼はそこにいる。ひっそりと場所を変えながら、眼以外の、耳以外の何ものでもなく、ただその上に体を休める諸々の事物から自分の色彩を受取りつつ。彼は……あらゆる事物の無言の同胞だ……彼は何ものをも無視することは出来ぬ。……詩人が絶え間なくあらゆる世界のあらゆる事物について考えるのではなく、事物の方が詩人について考えるのだ。〉

〈変身を意志せよ。〉という呼掛けが生ずるのは、かくの如き時点に於てであろう。居残ってはな

らぬ。過ぎゆかねばならぬ。＜何処にも留まるとい
うことはない。＞＜身を閉じて留まろうとするもの
は、既に凝固したものだ。＞生きること、それは存
在するものに常に訣別を告げていることであり、訣
別を告げられていることなのだ。

エロスの恩寵限りなく豊かなファウスト、ドン・
ジュアンが、諸々の誘惑と愛とに於て本来あれほど
までに耽溺的でありながらも、究極的には如何に峻
厳極まりない高い存在へと導かれ辿りついたかを想
起すべきであろう。

---BOOK REVIEW No. 7

“The Book Through 5000 Years”

496 pp. with 254 illustrations. £ 20. 00. Phaidon Press.

The Book Through 5000 Years という巨大な本が Phaidon 社（ロンドン・ニューヨーク）から 1972年に出版された。Liber Librorum—5000 ans d'art du Livre（ブラッセル Arcade社）の英訳本である。巨大とは縦30×横27cm、厚さ約7cm、の大冊で、10ポイント程の活字で2段組み、496ページの本文と112の着色図を含む254図の挿絵図版を意味するのである。

「インキュナビュラ」、とか「ブックバインディング」とかの特定の領域での図譜本には在来とも大部な出版物はあったが、単に「Book……」としての表題の洋書では、本書は最も大部大冊ものの一つであるといえるほど豊かな一本である。家庭の座り机では、大きすぎてどうにも扱いかねるほどの大厚本だが、ガッチリした大形のテーブル様の書見机で被見すれば、どっしりと落ちつくといった風格の本でもある。さて、そもそもこの本はユネスコ提唱の1972年の“International Book Year”を協賛し、記念として出版されたものである。I.B.Y.についてはすでに周知のこととは思いますが、目まぐるしい世の中なので一年前のことも忘れられ勝ちとも考え、少しく蛇足を加えておこう。1970年の第16回ユネスコ総会は1972年を“International Book Year”として、それに伴う行事を行う旨を決議した。この題目の日本語訳は“国際図書年”と称された。しかし、これだけでは何のことやら解らなかったが、その企画する処の内容は“ユネスコ加盟の世界各国は'72年を期して、各国それぞれの立場において、図書の社会における役割を一般大衆や、児童、生徒に再認識させ、その読書習慣の向上を図るとともに、出版活動をより盛にする。国際間の出版交流をより活発にし発展途上国の出版および、読書活動の向上も企画する、というような目標で、加盟各国がそれに因む事業を行う”との主旨であった。

わが国では日本ユネスコ国内委員会が中心になり、出版業、同関連業界、図書館、著作者等26団体で構成する実行委員会が、事業計画をすすめた。そして、“多種多様なマスメディアの発達にもかかわらず、図書は依然として文化の維持、発展、交流のための基本的手段であることを再確認し、発展途上国の図書普及を援助し、国際交流をいっそう進めよう”といった意味の趣意をかかげて、ユネスコ本部のスローガン“Books for All”をシンボルマークにバッジに図案したりした。1972年1月8日の上野の東京都文化会館における“国際図書年宣言大会”をかわきりに多彩な行事が実施された。しかし、管見ではわが国では記念の出版物はなかったと思う。

「The Book Through 5000 Years」の出版は、ヨーロッパに於ける I.B.Y. 記念事業の一つである。本書の巻頭 Introduction は国際図書館協会連合の総裁でまたユネスコ国際図書年支持委員会会長 Herman Liebaers 氏の筆で、“A book is all things to all men: a means of discovering reality or escaping from it, a tool, a mirror, an eyewitness”

の句で始まる。この文章のおおよその意味はつかめるが、さて日本語での表現はわたくしにはなかなか難かしく思える。さきに I.B.Y. のスローガン“Books for All”の日本語訳が日本の委員会で難解句であって、結局は原文のままとか、“みんなに本を”といったことになったということを仄聞したのも宜なるかなである。

一体“Book”とか“ほん”とか日常われわれが使っているのは、普通は今の形の“ほん”のことであろう。広辞苑の「書籍」の項には“人の思想を文字・絵画などに記し、これを後に遺し他に伝えるため

のもの。形は巻物から始まり、折本から綴本となったもの」とあって、「ほん」の始まりはただの書きものではないように受けとれる。

西洋の Book, Buch または Livre, Liber などは、いずれも、ほん、または書写の材料に由来しているそうである。この表題の Book にしても、さてその定義とか、いつの頃からの書いたものからブックというのかとなると、なかなか難かしい。また日本語では名称そのものが本・書籍・書物・図書・典籍・しよじやくとかまだあるかと思うが、ともかく、いろいろあるが、それぞれが、つかいわけられているのであろうか。先日ある古書展では「古書と古典籍展示即売会」と会名にあった。何れを「あやめかきつばた」か。この内容あいまいな語 Book も「ほん」も今度のこの本ではハッキリとその範囲を示している。序論につづいて本文は、四大項目二十十七章から成る。執筆者は二十三名。アントワープ大学図書館長 H. D. L. Vervliet 氏が編者代表である。

序項は「The Prehistory of books and writing」として、書写の歴史とブックの原始形に始まる。大英博物館蔵のエジプト「アニのパピラス」の一部分が原色版で挿図されている。紀元前 12, 3 世紀頃のスクロール状の「死者の書」の一編で、長さ 78 フィート、幅 1 フィート 3 インチもあり、同館銘品の尤なるものである。なるほど、これが本のそもそもの一つかと思わせる。エジプトの書写とその遺物についての他にメソポタミヤとアメリカ大陸のマヤとアズテックの書跡の記述がある。

次項は「The Book in the Orient」で Hebrew writing and the Hebrew book; Islam; The manuscripts of christian Asia; The manuscripts of India, Ceylon and South-East Asia の各章は書写のこと、材料のこと、製本の特異なこと余白絵のことなど、何れも邦文文献がすくないので執筆に人を得た簡潔な文章と図版に助けられて有益である。Central Asia; The Book in China; The Book in Japan の各編は、かねておなじみの事項なので、挿絵にしてもすでに目馴れたものが殆どである。しかし西洋の読者にはこの項は特異な事柄と思う。さて、この内 The Book in Japan についてすこしく記してみよう。この章は大英博物館印行本部長 Kenneth Gardner 氏の執筆である。かねて聞く日本書籍の大理解者の文章なので、邦人の記述を読む思いがするほど、すっきりと「日本のほん」の初期から近代までを理解させてくれる。朝鮮創製の銅活字がわが国に伝ったのは秀吉の文禄の役の結果である。その活字と印刷器具は後陽成天皇に献上された。好学の天皇は間もなく文禄二年（1593）に「古文孝経」の開版を企てられた。この銅活字最初の勅版本は現存していないが、同天皇が更に木彫の活字即ち木活字を造り慶長二年（1597）から数年に亘って刊行した、勅版図書の一冊「日本書紀神代卷」（慶長四年刊）が本書の挿絵にある。大英博物館蔵本の一つである。この本は昭和 47 年 1 月の東京のある古書展に出品されて大きな評判を呼び起したが、開会前に買手がついたということ思い出す。ガードナーの筆は慶長以降のわが国活字版のことを略述して、光悦たちの嵯峨本のほぼ一ページ大の図も掲出してある。また、でっちよう綴（胡蝶装）、やまと綴、袋綴などの製本のことをも記している。しかし、文禄勅版の二年前に開版されている、「サントスのご作業の内抜き書き」などの、謂所のキリシタン版については、僅かに数行しか書かれていないのは、察すれば、それがヨーロッパの印刷方式で刊行されたために、意識して語りすくなくしたのであろうか。しかし、その文中にキリシタン版が 1580 年ごろから開版としてあるが、これはあきらかに 1590—91 年ごろの誤植であろう。そんな細いことは別として、この文章は和訳しても、そのままわが国の読者諸士に役立つのではないかとも思う。

第三項「The manuscript in the west」の 10 章は「ギリシャ・ローマ時代の遺物の彩色ロールとコーデックス」の章以下何れも、わたくしには好固の参考となった。ここに詳述の余裕はないが。

第四項「The Printed book in the west」は「Xylographic books」に始まり「グーテンベルク」以下四章である。この中で今迄わが読書界に余り知られていなかった「西洋の木版本」のことが、特に有益である。グーテンベルク以来のことは、比較的にいろいろの文献で、すでに知られていたことが多い。が、しかし、何れも綴め方がよく、図版と相まって読者の理解をおおいに助けてくれる。ただ、大半の各章が執筆者を異にし、各々独立しているので、間隙があることはやむを得ないとしても、「through 5000 Years」を一貫させるもう一息の企画がほしかったのではあるまいかともいえる。（八木）

Langenscheidt-Verlag

1000 Berlin 62, Crellestrasse 29-30

8 München 23, Neusser Strasse 3

わが国のどの洋書店をみても、ランゲンシャイトの辞書と語学書とがない店はないほど、同社はこの分野の専門出版社として独自の地位と名声とをもっている。100に及ぶ言語による250をこえる辞書——ポケット用の廉価版から机上用の大型の版にいたるまで、600点以上の語学学習書、100種類以上の語学学習用レコード、カセット、さいきんではロンドンのBBCと提携してのレコードつき英語学習書の出版など、その出版物は、1856年に同社がベルリンで創立されて以来、世界で独自性と質の高さを誇っている。アメリカの McGraw-Hill とフランスの Larousse とが、同社の版をそれぞれ多数出版していることもそのことを証明しているといえよう。

創立者 Gustav Langenscheidt (1832—1895) は、19世紀後半のドイツにおけるもっとも進取の気象にあふれた出版人のひとりであった。青年時代にひろくヨーロッパ各地を旅行した結果、いくつかの言語を直接に学ぶ機会に恵まれたことが、その出版活動の基礎をきずいたといってもよいだろう。ベルリンにもどってきてから、グスタフは、じぶんが各国語を学んだ経験にてらしてみ、ドイツにおける外国語教育がいわば硬直した形式的な方法でおこなわれていることにまったく驚いてしまった。そこでフランス語の教師 Charles Toussaint (1877年歿) と協力して、独特な発音符号をもちいて、学習者が教師の援助なしで正確に話せるようになるフランス語独習の方法を考えだした。これは大きな反響をよび、ドイツにおける外国語教育に完全な変革をひきおこしたが、同時に将来のランゲンシャイトの出版の方向とその大きな成功を保証したことはいうまでもない。この成功に鼓舞されて、まもなく英語の学習書も出版され、これまた大成功をおさめた。

これらの学習書で学んでいた人たちが、同じ発音符号を使った辞書を要求するようになったのは当然である。独仏辞典は Karl Sachs と Cesaire Villatte とに、独英辞典は Eduard Muret (1833—1904) と Daniel Sanders (1819—1897) とに委ねられた。これらの完成には長年を要した——後者の場合には1891—1901——が、両辞典とも版を重ね、こんにちでも権威ある大辞典として通用している。Grosswörterbuch, Französisch-Deutsch (DM 54.00). Deutsch-Französisch (DM 68.00) が前者であり、Langenscheidts Enzyklopädisches Wörterbuch. Englisch-Deutsch 2 Bde. (je DM 85.00) が後者である。さいしょのポケット辞典が出版されたのは1883年のことであり、これはもっとも成功をおさめた企画となった。さいしょの仏・英にひきつづいて、スペイン語、ラテン語、古代・現代ギリシャ語、ポルトガル語、イタリア語、ヘブライ語などの辞書があいついで出版され、現在にいたるまで普及することになった。エヂソンが蓄音機を発明したのは1880年代のことであるが、語学の学習にこれを利用する可能性をさいしょに認めたのはグスタフであり、これはその後同社の語学学習書の普及をいっそう促進することになった。

1895年にグスタフが亡くなったのちに後をついだのは息子の Carl で、彼は会社を拡張し、印刷工場も大きくした。しかし1944年には爆撃で社屋が完全に破壊され、さらに戦時・戦後の大混乱期という困難な時期を迎えた。この混乱期をのりこえ、アメリカ占領軍の許可をえて出版事業を再開し、社屋を再建し、往年のランゲンシャイトをとりもどしたのは、ひとえに彼の努力に帰せられる。現在の社長は、ランゲンシャイト家の4世代目にあたる Karl Ernst Tielebier-Langenscheidt で、世界貿易の進展とともに、この分野の出版物もふえているが、語学書専門出版社という性格にはいささかの変更も加えられてはいない。

海外 ニュース

「米国書籍の売上高」

米出版社協会 (AAP) の推計によれば、1972年の米国出版社の書籍売上高は約\$3,117,200,000であった。この数字は1971年の数字と比較して3%の増加にすぎず、過去20年来最低の伸び率である。

売上高の前年に対する伸び率は、1968年頃までは毎年9%以上で、1968—1969年は6%、1969—1970年は同じく6%、1970—1971年は5%とここ数年漸減の傾向を見せてきたが、この1971—1972年の3%への落ち込みは目立っている。

この伸び率の大幅な減少には、小・中・高校および大学の教科書と、予約制参考書類の不振が大きく影響している。その他の分野の書籍は、いずれも例年並みかそれ以上の伸びを示している。

売上規模の最も大きな予約制参考書類は、1971年1972年ともに約606百万ドルであるが、若干減少、小・中・高校教科書は同じく約498百万ドルで同じく若干減少、大学教科書は379百万ドルから375百万ドルに減少している。但し、このマーケットでの一般書の伸びは著しく、1972年には小・中・高校のマーケットでは約13%、大学のマーケットでは約23%を占めるにいたっている。

成人向一般書のハードカバーの売上げは、1972年には約4～5%増、同じくペーパーバックは14%増である。児童書は全体では若干の増だが、1ドル未満のものは11%減少である。聖書・讃美歌集など宗教書は13%増、専門書は7%、大衆市場向ペーパーバックは10%、大学出版局のものは5%いずれも増加している。

(Publishers Weekly, 1973年7月30日号より)

「英国三社の提携」

英国の Chatto & Windus Ltd. と Jonathan Cape Ltd. は、1969年以来、Chatto & Jonathan Cape Ltd. という持株会社のもとで、緊密な業務提携を行ってきたが、このたびこれに新たに Bodley Head Ltd. が加わることになった。持株会社は Chatt, Bodley Head & Jonathan Cape Ltd. と名称を変え、三社の株式全部を所有することになった。

Bodley Head 社のマネージング・ディレクターの Max Reinhardt 氏は Ian Parsons 氏および

Graham C. Greene 氏とともに、この持株会社の取締役会長に就任する。

この三出版社は、しかしながら、今後とも以前と同様に自己の社名のもとで、自己の責任において、出版したいと思う本を全く自由に出版するとのことである。

(The Bookseller, 1973年8月4日号より)

——紀伊國屋書店提供——

ニュース

☆ 英国 Pergamon Press Ltd. の Production Editor, Mr. Michael J. Church 8月下旬来日。

☆ 米国 Gordon & Breach 社の Vice President, Dr. Edmund Immergut 8月下旬来日。

お知らせ

ドイツの大手取次店 Grossshaus Wegner & Co. は今年のフランクフルト書籍展で、日本の女性がスタンドにて、皆様をお迎えするようにして居りますので、是非第5ホール、4112番へお越し下さい。

Hans Enderle 提供 Tel (03) 353-2274

通関統計

外国貿易概況 (大蔵省関税局編、日本関税協会発行) 1973年4月及び5月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和48年4月	\$4,323,000	1月以降累計	\$18,966,000
昭和47年4月	\$5,296,000	〃	\$17,366,000
昭和48年5月	\$5,391,000	1月以降累計	\$24,357,000
昭和47年5月	\$4,418,000	〃	\$21,784,000

(註) 此の統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まれない。

事務所移転ご案内

今般次の通知がありましたのでお手許の会員名簿の訂正をお願い致します

(株)テクノコン ドキュメンツ サービス

東京都千代田区西神田3-9-14 吉田ビル 301号

電話 (03) 264-8827~8

リットン エデュケーションナル パブリッシング

インターナショナル 東京事務所

桑 島 春 彦

東京都大田区南雪谷3-17-13

電話03-720-5617 〒 145

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

(株) 医学書院 • 814 - 5931

Churchill Livingstone

Brocklehurst, J. C.: Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology (July '73) ¥12,320

Elsevier / Excerpta Medica / North-Holland

Enzyme Nomenclature; Recommendations (1972) of the Commission on Biochemical Nomenclature on the Nomenclature and Classification of Enzymes together with their Units and Symbols of Enzyme Kinetics (Elsevier Aug. '73) ¥1,950

Mertz, M.: Cystourethrography: A Radiographic Atlas (Excerpta Aug. '73) ¥14,950

Advances in Neurology

Vol. 1; Huntington's Chorea 1872-1927 (N-Holland June '73) ¥19,500

Vol. 2; The Treatment of Parkinsonisms; The Role of Dopa Decarboxylase Inhibitors (N-Holland July '73) ¥6,500

Dr. W. Junk B. V. Publishers

Francois, J.: Symposium on Light-Coagulation; Argon Laser and Xenon Arc (Documenta Ophthalmologica Proceedings Series Vol. 1) (Ready) ¥4,200

S. Karger AG.

Paumgartner, G. & Preisig, R.: The Liver; Quantitative Aspects of Structure and Function (Aug. '73) ¥8,400

Lea & Febiger

Holland, J. F. & Frei, E.: Cancer Medicine (Oct. '73) ¥24,000

Lindenberg, R. et al.: Neuropathology of Vision (Sept. '73)

Dr. G. L. Lempert

Lempert, G. L.: Advanced Electrocardiology in 2 vols, Vol. 1 (Aug. '73) ¥13,720

Little, Brown and Company

Wadditon, M. M.: Atlas of Cerebral Angiography (Dec. '73) ¥19,200

The C. V. Mosby Company

Tuft, L.: Allergy Management in Clinical Practice (Dec. '73) ¥9,440

Springer Verlag

Wackenheim, A.: Roentgendiagnosis of the Cranio-Vertebral Region (Sept. '73) ¥55,720

(株) 紀伊國屋書店

☎ 354 - 0131

Books

Dimitrov, Th. D. - Documents of International Organizations: a Bibliographic Handbook. 301 pages. 1973 (International University Publications) ¥7,480

The World Who's Who of Women. ca. 1,000 pages 6,700 Biographies. 1973. (Melrose Press) ¥17,600

(株) 丸 善 • 272 - 7211

Perspectives in Pediatric Pathology.

Ed. by H. S. Rosenberg and R. P. Bolande. Vol. 1. 420 p. 163 illus (Year Book Medical Pub., Chicago) ca ¥8,800

Fletcher, G. H. -

Textbook of Radiotherapy. 2nd Edition. ca 1,000 p. 374 illus. Price not set (Lea and Febiger, Philadelphia)

(株) 南 江 堂 ☎ 811 - 7234

E. Arnold

Renal Biopsy. 2nd ed. by D. B. Brewer ¥4,180
Visceral Afferent Functions of the Nervous System. by Newman in prep.

The Butterworth Group

Bone—Certain Aspects of Neoplasia. edited by C. H. G. Price ¥10,560
Pituitary Tumours. by J. S. Jenkins ¥4,400
Principles of Bone X-Ray Diagnosis. 3rd ed. by G. Simon ¥8,620

Blackwell Scientific Publications

Paediatric Neurosurgery. by K. Till ca ¥7,040
The Surgery of the Central Nervous System. by D. W. C. Northfield ¥19,800

Churchill/Livingstone

Surgery of Repair as Applied to Hand Injuries. 4th ed. by B. K. Rank ¥3,520

William Heinemann Books Ltd.

Scientific Foundations of Anaesthesia. by S. Feldman 2nd ed. ¥8,800

Scientific Foundations of Neurology. by M. Critchley ¥10,560

Scientific Foundations of Pediatrics. by J. A. Davis ¥8,800

Scientific Foundations of Surgery. 2nd ed. by C. Wells ¥8,800

Lea & Febiger

Atlas of Human Histology. 3rd ed. by M. S. H. DiFiore ¥3,040

- Foot Disorders. 2nd ed. by N. J. Giannestras
¥12,000
- New Atlas of Histology. by M. S. H. DiFiore
¥6,720
- Progress in Cardiology,
Vol. 1. by P. N. Yu ¥4,800
Vol. 2. ¥4,800
- Surgery of the Liver and Portal Circulation.
by McDermott in prep.
- J. B. Lippincott
- Illustrated Preoperative and Postoperative
Care. 2nd ed. by P. Thorek ca. ¥2,720
- Practical Pediatric Electrocardiography.
by Moss ¥4,950
- C. V. Mosby Company
- Anaesthesia for Infants and Children. 4th ed.
by R. M. Smith in prep.
- Infectious Diseases of Children and Adults.
5th ed. by S. Krugman ¥6,880
- The Pancreas. edited by L. C. Carey ca. ¥14,400
- Pathology of Infancy and Childhood. 2nd ed.
by J. M. Kissane in prep.
- Duvries' Surgery of the Foot. 3rd ed.
by Inman ¥8,800
- Springer-Verlag
- Air Instrument Surgery, Vol. 3. edited
by R. M. Hall ¥11,200
- G. Thieme Verlag
- Ovarian Tumors. by N. A. Janovski ¥8,260
- The Williams & Wilkins Company
- Clinical Neurosurgery, Vol. 20. in prep.
- Human Neuroanatomy. 6th ed.
by R. C. Truex ¥5,600
- Diagnosis and Treatment of Shock.
2nd ed. by M. H. Weil in prep.
- Medical Surgical and Gynecologic Complications
of Pregnancy. 2nd ed. by J. Robinsky in prep.
- International ed.
- Laboratory Medicine - Hematology. 4th ed.
by J. B. Miale ¥6,500
- Operative Gynecology. 4th ed.
by R. W. TeLinde ¥7,600
- Synopsis of Surgery. 2nd ed.
by R. D. Liechty ¥2,900
- 東京洋書 (株) ☎ 543-7853
- Melliand Textilberichte (Englis) ¥109,150
(オリジナル独語版の購読者に限る)
- Soviet Power Engineering ¥109,150
(Cover-to-Cover Trans. of Elektricheskije
Stantsii)
- 以上 Rand McElroy Co., Inc., U. S. A. 発行—
- (株) ト ッ パ ン ☎ 833-2111
- Markham Publishing Company All Titles.

会員の横顔

マテマティカ

福本理

本郷と神田は目と鼻
のような距離のへだた
りしかないので、その
気風には少し異ったも
のが感じられる。同じ
商店でも、神田のそれ
は店先の道にまで荷を
ひろげて通るものを索
通りさせまいとし、一



方、本郷のお店は、少し時代がかった表現をすれば、
格子戸をがらりとあけて、あがり框に腰をおろし、さ
て御主人、と話しかける段取りになるような、そんな
風情がまだ残っているような感じがしてならない。そ
して福本さんの柔らかな物腰や、丁寧な言葉づかいは、
まさにそうした雰囲気にはびたりなのではないかと思
う。

大正14年、福本書院の福本初太郎さんの次男として
生れ、独協中学を経て日大工学部の建築科卒。約10年
の銀行勤めの後、福本書院で洋書業に接触されること
になり、44年に数学専門の洋書店マテマティカを創業
することになる。理工系の福本さんとしては、己れの水
を得た魚のような御気分なのではないか、と想像する。

趣味の方もいたって巾がひろく、子供の頃からの切
手収集、お父上に手ほどきを受けたという本格派の将
それにスキー、と誠に多様だが、それに加えて昔から
の鉄道ファンで、今でもカメラを肩にSLを追いか
け、お宅では鉄道模型の製作に寸暇を割いてられる
とのこと。何しろHOゲージになる前のOゲージ(模
型の縮尺の単位でOゲージは1/4インチスケール。それ
でば大きすぎるのでその半分のHOゲージが一時盛ん
であったが、最近ではさらにその1/2のNゲージに移行し
つゝあるらしい)の頃から手作りの汽車や電気機関車
に打ちこんだというのであるから、此の道では相当苦
労を積まれたことになる。お宅では一男一女の父。そ
の男のお子さんがお父さんの趣味をひきつがれ、部屋
中にレールを敷いて親子で模型を動かされるというお
話を伺って、すっかり楽しくなっていました。

(自宅: 相模原市上鶴間ルネ東林間0703)

OCEANA 社の法律書

— 入荷のお知らせ —

すでにご案内の通り、このたび弊社がオセアナ社の全出版物——但し、マイクロ出版物およびすでに他社と総代理店契約が成立しているタイトルを除く——の日本販売総代理店に指定されました。今後、オセアナ社の出版物のご注文、お問い合わせ、資料請求等はすべて弊社宛にお願い致します。

このほど、最近出版された、あるいは現在継続刊行中の、下記のセットものが入荷致しました。皆様のご用命をお待ちしております。

▶ 世界各国憲法集—全約12巻・加除式—

Constitutions of the Countries of the World. Ed. by Albert P. Braustein and G. H. Flanz. Projected ca. 12 vols. ca. 10,000 pages. 1971—
(既刊 vols. 1—6) 各巻: ¥26,220

▶ 米 国 憲 法 集—全 3 巻・加除式—

Constitutions of the United States National and State.
Edited by the Columbia University Legislative Drafting Research Fund. 3 vols.
三巻揃: ¥66,500

▶ 米国憲法資料集成—全約10巻予定—

Sources and Documents of U. S. Constitutions.
Edited and annotated by W. F. Swindler ca. 10 vols. projected. each ca. 500 pages.
(既刊: vol. 1) 各巻: ¥13,300

▶ 世界の商法ダイジェスト—全 5 巻・加除式—

Digest of Commercial Laws of the World. A loose-leaf service in 5 binders.
Edited under the direction of George Kohlik, National Association of Credit Management.
全巻揃 (既刊 5 巻および1974年5月1日までのサプPLEMENTを含む): ¥95,000

▶ 世界の投資法・開発途上国—全 4 巻予定—

Investment Laws of the World—The Developing Nations.
Compiled by International Center for Settlement of Investment Disputes. A loose-leaf service, projected 4 binders.
(既刊: 第1, 2 巻) 各巻: ¥28,500

▶ 海洋法の新指針—全 3 巻—

New Directions in Law of the Sea.
3 vols. 1973
(既刊: 第1, 2 巻) 全巻予約価: ¥19,000

▶ 統一判例集

Uniform Law Cases.

Compiled by the International Institute for the Unification of Private International Law (UNIDROIT)
Back Volumes 1959—1971: ¥61,750
Annual Supplementation: 年間 ¥4,750

日本販売総代理店

東京都新宿区新宿 3-17-7 郵便番号 160-91 株式会社 **紀伊國屋書店** Tel. (03) 354-0131 (大代表)
振替・東京125575
営業所: 札幌 (011) 251-7841 仙台 (0222) 27-0301 千葉 (0472) 22-3751 浦和 (0488) 22-3970
八王子 (0423) 44-1598 横浜 (045) 681-1451 富山 (0746) 31-4690 金沢 (0762) 31-6210
静岡 (0542) 53-3015 名古屋 (052) 571-7351 京都 (075) 221-3310 大阪 (06) 341-2731
大阪南 (0722) 21-5301 神戸 (078) 251-0559 岡山 (0862) 22-7312 広島 (0822) 28-5670
福岡 (092) 43-5341 鹿児島 (0992) 23-4519

昭和48年9月 通巻第77号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル 302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329